

ワークショップ

東京電力福島第一原子力発電所事故の 影響評価に必要な研究の課題

日時・場所

2014年11月12日(水) 16:30～19:30 (16:00開場)

福島大学L講義棟L1教室 (〒960-1296 福島市金谷川1)

プログラム

- 16:30 - 16:40 開会挨拶
- 16:40 - 17:40 UNSCEAR福島第一事故影響評価報告書について
- 17:40 - 18:20 福島大学での福島第一事故影響評価に関する取組みについて
- 18:20 - 19:20 重点をおくべき科学研究課題とは(ディスカッション)
- 19:20 - 19:30 閉会挨拶

- ・聴講自由
- ・入場無料
- ・通訳あり

登壇者

- Wolfgang Weiss (Chair, UNSCEAR Fukushima Assessment Report)
- Stephen Solomon (Group Leader, UNSCEAR Fukushima Assessment Report)
- Lynn Hubbard (Representative of Sweden to UNSCEAR)
- Malcolm Crick (Secretary to UNSCEAR)
- 難波 謙二 (福島大学共生システム理工学類教授 福島大学環境放射能研究所副所長)
- 清水 修二 (福島大学経済経営学類特任教授)



国連科学委員会(UNSCEAR)とは、1955年に設置された、科学分野の専門家で構成される国連の委員会です。2014年4月、UNSCEARは、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくとその影響について評価した内容をまとめた報告書を刊行しました。その報告書では、公衆や作業者の被ばくと健康リスク、環境への影響についての推定結果と共に、評価の信頼性を高める必要性についても述べられています。本ワークショップでは、UNSCEARと福島大学の専門家との情報交換や議論を通して、今後重点をおくべき科学研究の課題をより明確にします。

主催

原子放射線の影響に関する国連科学委員会
(UNSCEAR)

共催

福島大学

お問合せ

福島大学環境放射能研究所

E-mail ier@adb.fukushima-u.ac.jp

Tel. (024) 504 2848

会場案内図



当日は公共交通機関をご利用ください